

一般質問 森下 義照 議員

町有財産全般にわたる効率的維持管理について

町長 個別施設計画、長寿命化計画などを必要の都度策定、あるいは見直して、計画的に維持管理等対応していく



問

町有財産は、土地、施設、物品等財産台帳で把握し管理していると思えます。

しかし、それぞれ目的のなかつた管理がされていらない感じが致します。

以下について、町長に伺います。

①新幹線工事に関わる移

転者の代替地確保については旧胆振線跡地での対応のことですが、宅地として整備し形を整えること、また、移転戸数に対して不足分は、町の遊休地を宅地として整備し、安心のできる代替地が必要と考えます。

また、旧胆振線跡地は、台風による倒木等で見苦しい状況であり、早急な復旧が道行く人の話題であります。

町では、新築やリフォーム等で助成制度を行っています。行政誘導による新幹線工事のための移転なので、代替地の地価についても助成し、経費の軽減

を図り、意欲を与え安

心して移転できるようにすることも大事かと思いますが、町長のご意見を伺います。

②土地財産等の貸し出し

状況について、場所と使用目的の件数、並びに、精査後の対応はどうするのか。

また、施設の今後の整備はどうするのか、内容を示して欲しい。

③防災マップに記載され

ている避難所、避難場所等について精査し修正したのか、それとも現状維持のままなのかを伺います。



旧八幡小学校跡地（指定緊急避難場所）

町長

①俱知安駅以北の住民の

皆様の移転先確保に関わる負担及び会員減少による地域自治会への影響を軽減するため、旧胆振線跡地に38区画の宅地造成を計画しました。移転対象者向け宅地造成は、本事業のみとしておりますが、他の町有地の一般分譲の検討、民間事業者による宅地造成も計画されていることも聞いております。

町として計画確定した場合、速やかに情報提供し、活用により移転を検討していただきたいと考えております。年明け一月下旬に宅地購入意向調査を踏まえ、最終的な対応を検討いたします。

②町有財産等の貸し出し

状況ですが、継続的な貸付位置、所有状況で普通財産と行政財産に分けますと、普通財産の土地貸付が90件、建物10件、行政財産は土地33件、建物13件となっており、契約の方法については精査し、原則契約期間を3年に統一、また、貸付料に関しても、固定資産税評価替えに合わせて、3年で公開することとし、平成31年度から順次改定することとします。

各施設等の今後の整備に関しては、公共施設等総合管理計画に基づき、それぞれの施設の個別施設計画あるいは、長寿命化計画などが必要の都度策定または見直し、計画的に維持管理等対応して参りたいと考えております。



本年度7月に、くつちゃん保育所ぬくぬく・俱知安高等学校・俱知安農業高等学校を新たに指定させていただき、併せて高等学校のグラウンドは、指定緊急避難場所に指定いたしました。

一方、指定緊急避難場所の精査につきましては、旧比羅夫小・旧末広小・旧大和小・旧寒別小・旧八幡小・旧巽小・旧富士見小の各グラウンドは、運用面を考慮した中で指定を外す予定としております。

なお、今回の精査内容は平成31年度予算で防災マップを印刷し、全世帯に配布したいと考えております。